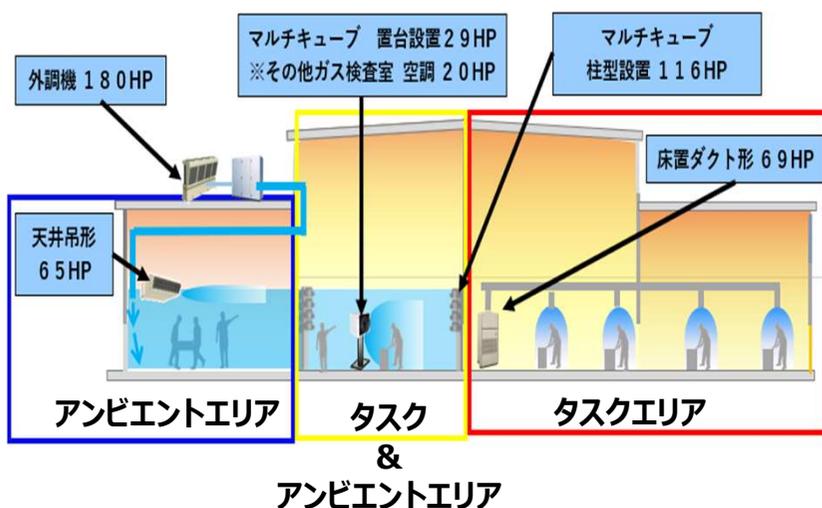


新空調方式の採用とビッグデータ活用による 新工場の省エネ取り組み (工場) 2020年度産構審WG報告

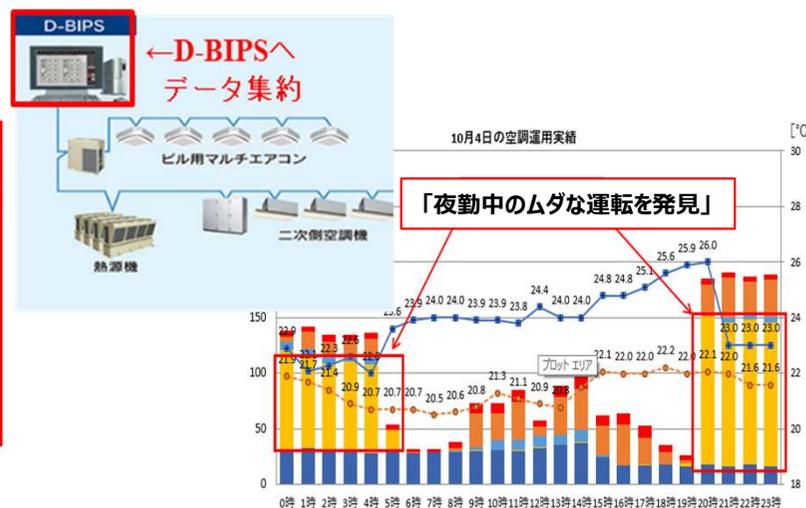
令和元年度省エネ大賞
省エネルギーセンター会長賞
ダイキン工業株式会社

- 空調No.1メーカーとして適材適所という新しい空調方式を導入
 - ①作業エリア毎に、その場所にマッチした空調方式を選定し、全館空調と比較して空調エネルギー74.9%の削減を達成
 - ②外気流入による空調負荷を軽減させるため、外気取り入れ空調機を活用して吸排気をバランスさせ、工場内を陽圧化
 - ③温湿度などのリアルタイムデータを収集して見える化、快適な作業環境を整えながら省エネ改善施策の抽出と実行
- 空調負荷低減のために、建物仕様で屋根は「ダブル折板」、外壁は「サンドイッチパネル」、窓ガラスは「Low-Eガラス」を採用、その他、遮蔽ルーバー、遮熱塗装によって熱負荷を削減

ダイキンが考える工場空調 (適材適所の空調方式)



見える化 (分析と改善)



工場空調エネルギー 削減効果

